

9月7日 北本町（ふれあい会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

\* 対応状況は矢印⇒です。

- 町役場の建替えには賛成。安かろう悪かろうという弊害が生じないように慎重に検討してもらいたい。決めるときには、町民が参加できるようにしてもらいたい。  
⇒ 建替え事業者を決めるプロポーザルには、町民の方にもご参加いただけます。
- 新庁舎の基本設計図はどうなっているのか。レイアウトや延床面積は変わるのか。  
⇒ 延床面積は変わらない予定です。レイアウトは見直しを行います。
- 葉山町にはハイキングマップのモデルコースがある。大磯町でも、例えば、駅を降りてからのコースや、子どもやシニアのコースなどモデルコースの情報発信をしてほしい。  
⇒ ガイド協会や観光協会と協力して、歩いて大磯を好きになってもらい、移住につなげるようハイキングマップを整えていきます。
- 通いの場を作るのは、よい試みだと思う。北本町はふれあい会館が利用できる。体育協会でいろいろな施設を使うが、武道館や岩田孝八記念室内競技場は冷暖房がないので、是非、エアコンを設置してもらいたい。  
⇒ 岩田孝八記念室内競技場は広いので、費用がかかり難しいかもしれませんが。武道館は建替えを予定しているので、建替え時に設置するようにします。
- 空き家について調査すると聞いた。2～3年前にも調査している。また、家の隣が空き家になっている。  
⇒ 空き家対策は移住者受入れに大切なため、今年度、すべての空き家がどこにあるのか、都市計画課で調査しました。来年度はその調査に基づいて、空き家の除却やリフォーム促進を検討しています。
- さざんか通りに、町のパイロンが設置してあり、ずっと工事中になっている。いつごろ整備が終わるのか。現状は大丈夫かもしれないが、あのままにしておくと道路が危険になる。何カ月もあの状態だと危険なため、早めに対策してほ

しい。

⇒ 土地所有者に、危険な部分をコンクリートで基礎固めをしてほしいと要望しています。とりあえず、12月には町道には柵を作りました。

○ 大磯町の場合、ふるさと納税はプラス収支かマイナス収支か。

⇒ 私が町長になってからはトントンになっています。出ていく方はどんどん出ていくので、ふるさと納税を増やす対策として魅力的な品物を揃える対策を進めています。大磯プリンスホテルにいろいろお願いし、寄附額の約6割を占めています。漁協の干物なども返礼品にできればと考えています。

また、熱海市のようにブランド力を高めていきたいと思えます。海の家が今年は1軒も出ませんでした。逗子、葉山、江の島は大賑わいになっており、お店の宣伝として海の家を出しているところもありました。今年、海の魅力を高めるため、東京海洋大学に講演にきてもらいました。今後は、同大学と一緒にブランド力向上の戦略を練る予定です。

○ オープンガーデンが20年経過し浸透してきている。大磯にしかない花とか、何かアイデアを出して広めてほしい。

⇒ オープンガーデン周遊チケットのタクシー券等についても、ふるさと納税の返礼品として、皆さんと一緒にいろいろ考えていきたいと思えます。特に、再来年は国際園芸博があるので、結び付けて人を呼べないかと思っています。また、今年、オープンガーデンに平塚農商が参加してくれています。

○ 人口減少対策として、流山市のように出産の補助をしてはどうか。

⇒ 結婚したてはマンションを選択し、その後、家を建てるのに大磯が選ばれている傾向があります。一戸建てを選択する人に移住してもらうため、大磯の文化、歴史を売りにしていきたいと考えています。また、来年度には出産祝いの対策を検討中です。

○ 犬と一緒に暮らしやすい町というのはどうか。犬猫グッズもふるさと納税の返礼品として検討してみてもは。

⇒ ドッグランを開催したら大好評でした。犬や猫と暮らす人が大磯で増えています。岩田孝八記念室内競技場を、ペット避難所にしていきます。犬猫グッズは大磯町内で生産していれば返礼品になりますので、検討します。

以上